

令和元年度 第1回振興審議会 議事録

- ◆日時 令和元年7月8日（月）午前9時30分
- ◆場所 市役所3階庁議室
- ◆委員 出席17名、欠席1名
- ◆事務局 みらい戦略課長、同補佐、企画調整係長、職員

〈次第〉

- 1 辞令交付
- 2 市長あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 会長互選
- 5 会長あいさつ
- 6 会長代理指名
- 7 総合計画諮問
- 8 報告
 - 1) 南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略について（説明：企画調整係長）
- 9 協議
 - 1) 南陽市総合戦略KPIの検証等について（説明：企画調整係長）
 - 2) 第6次総合計画策定方針について
 - 3) その他

《意見等》

◆柴田孝 会長

- ・総合計画、総合戦略について全員に意見をいただきたい。
- ・総合計画がないと進むべき方向を見失ってしまう。
- ・進行は会長代理の池田めぐみ委員に委任

◆高橋 弘 委員

- ・結婚する人が少ない。お見合いの取組みでどのくらいの実績があるのか。
- ・南陽市に住み続けたい中学生が50%を下回っている。その理由を深掘りして欲しい。

- ・林業に従事する人が増えていることは朗報。木をどうすれば高く買ってもらえるか課題。
- ・ふるさと回帰支援センターを活用してはどうか。

◆鈴木 潤一郎 委員

- ・新規農業従事者が増えているとあったが、やめている人の数はどうか。
- ・ハイジアのリピーター数は。
- ・赤湯駅の利用者が少ないのでアピールが必要。観光資源の開発も必要。

会長代理

- ・委員から数字について出てきたので、事務局で把握しているものがあればお願いします。

事務局

- ・結婚・子育てが生活の負担やキャリアの阻害にならないように市でも女性の社会参加を先導したい。市の施策のなかで心のハードルを下げるようにしたい。
- ・H29年は婚姻数109組。
- ・中学生が住み続けたいかどうかのアンケートについては現在アンケートを行っているので分析して第2回の振興審議会で示したい。
- ・林業についても林業に関係のある沖田委員も入ってもらっているので注目していきたい総合戦略の項目としたい。
- ・移住については皆様のアドバイスをいただいて何ができるかを考えていきたい。
- ・高級ぶどう、新規ワイナリーによる新規就農者が増えたが、耕作地自体は減少している。食用、醸造用のぶどうによる耕作地の回復ができないか議論していきたい。
- ・ハイジアについては検討会が立ち上がり意見を伺って行きたい。
- ・赤湯駅の利用については観光そのものなので総合計画、総合戦略のなかで具体的な施策を議論したい。

会長

- ・婚活イベントについては市民提案型のイベントを南陽市で予算を付けて展開している。

◆沖田 志保 委員

- ・結婚を望まない人が増えているが、なぜ結婚しないか深掘りする必要がある。
南陽市で子育てしていて（近くに両親がいて手伝ってもらっていることもあるが）不満なところはない。結婚していない人と既婚者が話をできる場があればいい。イメージが沸きやすいのではないか。
- ・子どもが遊びやすい公園が少ない。
- ・森林所有者の高齢化で跡継ぎがいない。亡くなったときに誰のもので誰に相談すればいいか把握している人がいない。荒れていて手も付けられない。まとめて管理しようにも音頭を取れる人がいない。

◆高橋 善一 委員

- ・耕作放棄地が増えているが農地を所有しやすいようにしている（退職後の就農、新規就農）。
- ・宮崎地区は空き家が多く20年もしないうちに世帯が3分の1くらいになってしまう。田舎は農地が付随している家屋が多いので、取引の要件が5反歩から3反歩に緩和されている。
- ・空き家になると管理していない家に野獣が住みつき修繕できなくなる。
- ・ふるさと納税に規制がかかり減っているなので、値段を下げて寄付を獲得できるようできないか。
- ・赤湯にビジネスホテルを誘致して欲しい。他市町に客が流れる。
- ・ハイジア内ではなく屋外の遊具を充実して欲しい。

◆佐藤 廣志 委員

- ・米沢福島間が高速道路でつながり福島に人が流れていくため、工業団地の土地を購入した事業所が従業員を雇えない懸念がある。みはらしの丘にも企業があり、さらに飯豊にデンソーができ150人雇用する情報もある。人の流れについて検証して欲しい。
- ・融雪など雪対策された陸上競技場をつくってほしい。

会長

- ・南陽市にはユニークな会社が多い。市と一体的に雇用を考えていけばどうか。

会長代理

- ・陸上競技場はトラックだけでなく、温泉や物産などと組み合わせればアスリートだけではない人の流れができるのではないか。

◆和田 廣 委員

- ・ドーム型の陸上競技場が欲しいという話が出ているが池田委員の意見も体育協会でも出して欲しい。
- ・結婚推進室は県内でも高い実績がある。結婚や出産についても教育していけないか。Uターンにもつながるのではないか。
- ・健康寿命について考えなければならない。
- ・ラーメン課・ワインの売り出し方を考えて欲しい。

◆小関 文典 委員

- ・宮内と赤湯が一体化していない。
- ・赤湯駅、通り等魅力ある景観になるよう考えていきましょう。まちに魅力があれば人が来るのではないのでしょうか。
- ・中学生アンケートで住みたくないという意見があったが「市長と語る会」などで話を聞いて欲しい。

会長

- ・南陽市のフェイスブックが行政イベントしかない。まちの魅力を発信してけばもっと見てもらえるようになるのでは。

会長代理

- ・フェイスブック利用者は20代以上、10代はインスタ利用が多い。誰に向けて発信するかで使い分けも考えられるのではないか。インバウンドは英語標記がないと魅力が伝わらない。

◆丸森 周平 委員

- ・昨年実施したラーメンカードラリーはいいアイデアだった。
- ・農業をやめる人と新規就農者のマッチングができないか。
- ・ぶどう・ワイン、プログラミング、ITはこれから伸びる分野なので6次総に入れて欲しい。

会長代理

- ・HPの中でいろんなマッチングができないか。

◆高橋 和義 委員

- ・他と比べると南陽市は物足りない。総合計画が盛り込みすぎているのでどういうまちにしたいか見えてこない。
- ・K P I の評価はやったけど効果がなかったものも検証すべき。
- ・他市町村と比較してこの分野をがんばりたいというのが見える比較をして欲しい。
- ・商工会の加入率が県内ワーストだが、分母の事業所総数に廃業している企業もあって加入率を上げるのが難しい。
- ・企業誘致の議論をしても意見がいろいろありまとまらない。グランドビジョンを示して欲しい。
- ・工業団地が米沢と比較すると土地の値段が高い。現実をみて募集すべき。
- ・6次総については様々な意見を聞くのはいいことだがどういうまちにしたいかを示して欲しい。

会長

- ・他と比較しないで南陽市の今の姿を発信しなければいけない。比べないでどうやって強みにしていくか。

◆山口 裕昭 委員

- ・K P I の目標値をどうやって定めたのか、実績値をどうやって求めたのか、透明性が必要。
- ・ハラール料理に対応するなど、イスラム圏のインバウンドを進めてはどうか。

事務局

- ・強み弱みのデータについては経済産業省のビッグデータがあるので次回示したい。

飯塚 道雄 委員

- ・南陽市最大の観光資源は熊野大社であると思っているので熊野を宣伝していくことが南陽市に人を惹きつける引力になるのではないか。

◆多田 良宏 委員

- ・赤湯温泉、熊野大社、置賜33観音など地域に人を呼び込める素材が多い年なので地域連携DMOに関するK P I が2市2町の数値で目標値が出ているが南陽版の数値を示して欲しい。
- ・女性活躍推進のK P I を掲げてはどうか。

- ・大人の目線でのまちづくり視点も総合計画に盛り込んで欲しい。

◆飯塚 博基 委員

- ・精神性豊かな南陽市や経済都市南陽など、どのような南陽市にしたいかが必要になってくる。
- ・総合計画にSDGs（持続可能な開発目標）を取り込んでどうか。貧困をなくす、男女平等など難しいことではないので。

◆高橋 篤 委員

- ・獣害対策をしないと10年後はまちの中にも獣が下りてくるようになる。
- ・どの産業も後継者が育たない。子どもに残って欲しいければ親が子どもに自分の仕事を卑下しないように。

◆島津 善衛門 委員

- ・森林をどう利活用するか。廃プラ問題などで森が見直されている今考えなければいけない。沖田委員からあった所有者問題、境界問題などが獣害問題にもつながっていく。
- ・文化会館、体育館の利用者を増やしたい。健康寿命を延ばしたい。

◆池田 めぐみ 委員

- ・屋内競技場を作って運動会も全天候でできるようにしたい。
- ・デジタルをうまく取り入れて言って欲しい。東京では幼稚園のお便りなどはラインなどで送られてくるのでプリントがない。
- ・フリーWi-Fiが少ない。
- ・赤湯駅のSuicaが西口にないのが不便。

会長

- ・5GやAIなどITが発達し時代が変わっていく中で南陽らしさ、オンリーワンの南陽を考えて欲しい。

以上